

熱源設備の更新によるヒートポンプの導入(E019)

【プロジェクト概要】

熱源設備の更新の際に、ヒートポンプを導入することで、CO2排出量を削減する

【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 熱源設備の更新の際に、ヒートポンプを導入すること

条件2. 事業者は、ヒートポンプで製造した温水、蒸気または冷水を自家消費すること

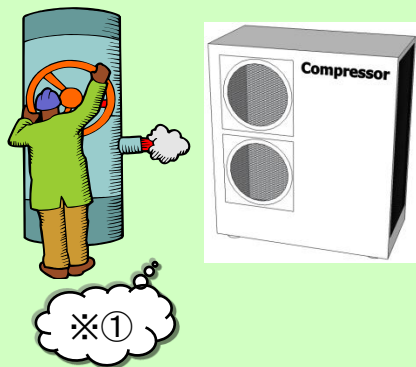
条件3. ベースライン、プロジェクトともにエネルギー源は化石燃料または電力であること

条件4. 熱回収を行わない型のヒートポンプであること

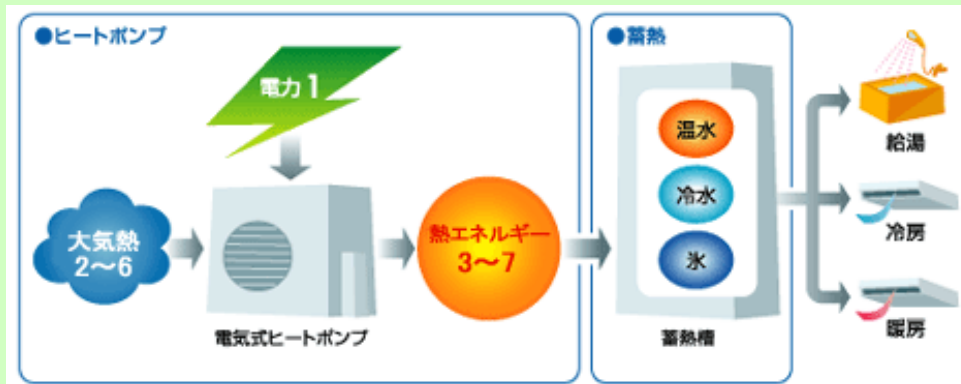
条件5. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと（例えば、投資回収年数が3年以上であること）

排出削減量の算定で考慮する範囲

<既存の熱源設備(例)>



<更新後のヒートポンプ導入(例)>



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

- ① 代替される熱源設備のエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ② ヒートポンプのエネルギー消費効率(COP、APF、ボイラ効率等)
- ③ ヒートポンプの年間電力使用量
- ④ ヒートポンプの年間化石燃料消費量